



学校だより

文責 校長 伊藤 由美子

光る目・光る心・光る汗の一貴山っ子

いっしょうけんめいの目で勉強

きもちのよい心であいさつ

たくさんあせを流して運動・掃除

◇後期 対面での始業式◇



10月11日、全校児童が体育館に集まって、後期の始業式を行いました。決意新たに後期のスタートです。1年間で、最も過ごしやすい季節になり、学習や様々な体験活動等を行いながら、逞しく成長して欲しいと願っています。



◇4年生 「誰もが住みよい街づくり」◇



「障害がある人を取り巻く現在の生活の様子や問題点について知り、自分にできることを考えながら、ともに生活していこうとすることができる」を学習のねらいとしています。この日は、車いすで生活されている方からお話を聞き、実際に車いすを押してみたり、自分が車いすに乗ったりする体験をしました。

少しの段差でも車いすが乗り越えるのは難しいことや、車いすから椅子やベッドなどに体を移すには、ゆっくりと注意が必要であること、高いところにある物には手が届かないことなど、日常生活の様々な場面での不便さについて理解を深めました。

◇5年生 九大寺子屋◇

「圧力を知ろう！」と題して、九州大学理学部の学生さんが授業をしました。実験を交えながらの説明に、子どもたちは、興味津々でした。身近な圧力である「大気圧」や「水圧」について知りました。科学への第一歩は、「当たり前を疑うこと」だそうです。



◇1年生 いもほり体験◇



5月に植えた芋苗が、夏の間にごんごん成長し、10月28日に、芋掘りをしました。お家の方にもお手伝いをいただき、立派なお芋がたくさんとれました。1年生の子どもたちは、家に持ち帰り、天ぷらやおみそ汁など、家族とおいしく味わいました。学校給食の食材にもお芋がつかわれるそうです。



◇6年生 歴史探訪◇



3年ぶりに、6年生の歴史探訪を実施することができました。社会科では、6月から歴史の内容に入っていますが、「百聞は一見にしかず」です。市バスを利用して、伊都国歴史博物館・志摩歴史資料館を見学し、郷土に残る遺跡や出土品等、糸島の歴史遺産について見聞を広めました。



◇5年生 稲刈り◇



もさせてもらいました。今年もたくさん収穫でき、有り難いです。

11月4日(金)に、5年生が稲刈りを体験しました。ISK(一貴山青年研究会)の方々から稲の刈り方や束ね方を教えてもらい、だんだんコツをつかんで、上手になっていきました。深江小の5年生も見学にきたので、いいところを見せようと張り切っていました。後半は、刈った稲をコンバインで脱穀する体験



◇花いっぱい運動◇



11月8日(火)、これまで毎年実施してきた「花いっぱい運動」を行いました。この日は、区長の皆様、まちづくり部会の皆様、学校運営協議会委員の方、PTA代表の方が参加していただき、子どもたちと一緒に花植えをしていただきました。

この日植えた、パンジーとビオラの花が春にはもっと大きな花となり、校区のあちこちで児童や地域の皆様に和ませることができれば幸いです。

※プランターに入れた培養土80袋は、JA糸島西部支店様よりいただきました。



◇3年生がんばりました！人権の花の風船種飛ばし集会◇



11月8日(火)、全校児童が参加して、3年生がこれまで大切に育ててきた「人権の花ひまわり」の種を、エコ風船に付けて飛ばす集会を開きました。3年生は初めて全校の前で集会を進めるので、みんな緊張した面持ちでしたが、一人一役で役割分担をして、しっかりと役目を果たすことができました。ひまわりの育つ様子を写真付きで説明したり、とれたひまわりの種を1、6年生にプレゼントしたりしました。風船は、風に乗って、空高く舞い上がっていきました。夕方、八女市の方から種が飛んできましたと、連絡がありました。

